

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和元・2年度）

基本方針	生涯にわたるスポーツの推進
------	---------------

1 基本施策と主な事業及びその内容（計画記載事項）

基本 施策	(1) 子どもの体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携して、幼児期における運動機会の創出と運動習慣の定着。 スポーツ少年団・部活動を通じて、楽しさや喜び、精神的充足や自主性、協調性を養い、運動習慣の定着と体力の向上につなげる。
	主な事業	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室開催事業 キッズ体育教室、ジュニア陸上教室など幼児から小中学生を対象として、各種教室を開催。 スポーツ少年団活動 スポーツ少年団の設立に関する指導や登録、運営費の助成などを実施。 スポーツ少年団運動適正テスト測定会 スポーツ少年団を対象とした体力測定会を実施。
	(2) 働き世代のスポーツ機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの年代に合わせたスポーツ機会の創出、充実を図るとともに、イベント情報などを積極的に提供。 スポーツ教室やイベントを開催し、生活習慣病予防を促進。
	主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設開放事業 市内小中学校の体育館、グラウンドを市民のスポーツの場として開放。 市民体力測定会 市民を対象とした体力測定会を実施。 ファミリーウォーキング 親子参加型のウォーキングイベントを実施。
	(3) 高齢者・障がい者スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携しながら、スポーツ機会の拡大を図るとともに、スポーツを通じた交流機会の拡充が図られるよう支援。 高齢者の体力づくりや生きがいをいづくりによる健康寿命の延伸。
	(4) 競技力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体と協力してスポーツクリニックの開催など一流選手に触れる機会を提供し、選手の意識と競技力を向上。 合宿誘致による市内中高生との合同練習や試合を通して、競技力を向上。
	主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会等出場奨励事業 東北大会や全国大会に出場する本市代表選手に対し、激励金を交付。 体育功労者等顕彰事業 競技団体などの発展に貢献した人や優秀な成績を取った選手を表彰。 体育協会加盟団体活動支援事業 加盟団体の活動費を助成し、日常的な活動と市民のスポーツ参加を推進。

2 基本施策の進捗状況・実績と成果

No	基本施策	進捗状況・実績と成果
(1)	子どもの体力づくり	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちを対象に、4教室7種目のスポーツ教室とジュニアスポーツ塾を年12回開催したことにより、スポーツに触れる機会の増加を図った。（延べ234人参加） 大船渡市スポーツ少年団登録団体に運営費を助成し、子どもたちの受け皿となる団体の育成に努めた。（46団体、890千円） 学校部活動が岩手県大会などへ出場する際に要する経費（移動費、宿泊費）に対して、補助を実施した。（中学校5校、延べ424千円） スポーツ少年団運動適正テスト測定会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止とした。
(2)	働き世代のスポーツ機会の拡充	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民体力測定会については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、出張測定会として実施した。（蛸ノ浦地区、15人参加） 一般を対象に、2種目のスポーツ教室とファミリーウォーキングのイベントを開催した。（延べ148人参加） 市内スポーツ施設及び学校体育施設をスポーツの場として提供することにより、スポーツ機会の確保を広く図った。（16施設、15校 299日間開放）
(3)	高齢者・障がい者スポーツの推進	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県障がい者スポーツ協会主催の卓球バレー大会や大船渡市老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会を開催した。（延べ190人参加） 高齢者を対象とした生きがいセミナーにおいて、ニュースポーツを2回（盛、綾里）実施したことにより、生涯スポーツ振興の一助とした。（延べ40人参加） 大船渡市老人クラブ連合会主催親睦交流大運動会及び気仙地区身体障がい者スポーツ交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた。
(4)	競技力の向上	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会などに出場する選手、団体に対し、激励金を交付した。（6件、50千円） 本市の競技団体の発展に貢献あるいは国体などで優秀な成績を取った個人・団体を表彰した。（4団体、10個人） 県民体育大会冬季大会（冬季以外の競技は中止）に出場したスキー協会にのみ強化費助成及び派遣支援を行った。（94千円） 元プロ野球選手による野球教室の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 3団体が本市のスポーツ合宿支援補助金を活用して合宿を行い、うち1団体は、市内高校生と練習試合など交流を図った。（延べ宿泊404人、508千円交付）

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	基準値		実績値					目標値		達成率	達成率区分	進捗度評価
		R1	R2	R3	R4	R5	R5	R10					
日頃から継続してスポーツを行っている市民の割合	%	15.5	15.2						17.0	19.0	89.4	b	B
市内スポーツ施設の利用者総数	人	276,006	209,345						260,500	245,000	80.4	b	

※達成率=目標年度の直前年度における実績値/目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

4 課題

【課題】
子どもの体力低下
働き世代を中心としたスポーツ機会の増加
高齢者・障がい者スポーツの環境づくり
中高生を中心とした競技意欲・意識の向上につながる他地域との対戦・交流機会の増加
競技力向上のための指導者の育成・確保

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室の開催やスポーツ少年団活動の育成に引き続き取り組む。 働き世代を対象としたスポーツ教室、スポーツイベントなどの充実と情報発信を図る。 高齢者・障がい者スポーツ関係者と連携を図り、スポーツに触れる機会の充実に取り組む。 各世代における生涯スポーツの振興を通じて、日頃からスポーツに親しむ市民の増加を図る。 大船渡市スポーツ合宿支援補助金を活用したスポーツ合宿誘致を進め、他地域の中高生との練習試合などの機会の創出・増加を通じた競技力の向上に取り組む。 各競技団体などと連携し、新たな指導者の確保に取り組むとともに、指導者を対象とした研修会の開催や認定指導者資格取得のための助成などを通じて、指導者の更なる育成・充実を図る。 新型コロナウイルス感染症の動向を見据えつつ、各種イベントの再開（見直し、再構築含む）に向けて取り組む。

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和元・2年度）

基本方針	スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進
------	------------------------

1 基本施策と主な事業及びその内容（計画記載事項）

基本施策	(1) スポーツによる交流の促進		<ul style="list-style-type: none"> 市民体育大会など市民がスポーツに親しむ機会の創出を図り、市民間の交流機会の拡充を促進。 横断的な連携を図りながら、合宿、イベントの誘致を進め、地域経済の活性化とにぎわいを創出。 BMXなど次世代スポーツイベントの開催・支援や、スポーツアクティビティによる地域活性化の推進。
	主な事業	市民体育大会	スポーツへの関心を高め、スポーツ活動を促進することを目的に市民体育大会を開催。
		大船渡新春四大マラソン大会	県内の陸上シーズンの幕開けを告げる大会として、ロードレース、駅伝の四つの大会を同日に開催。
		大船渡ポートサイドバレーボール大会	バルセロナ五輪に出場を果たした本市出身の栗生澤淳一氏を顕彰し、スポーツ少年団を対象としたバレーボール大会を開催。
	(2) 地域でのスポーツ活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> 在り方が大きく変化する地域コミュニティに対し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた新たなコミュニティの形成を支援。 スポーツ推進委員の派遣により、地域における自発的なスポーツ・レクリエーション活動を支援。
	主な事業	スポーツ推進委員設置運営事業	実技指導、助言などを行うスポーツ推進委員をスポーツ大会や親子レクなどに派遣。
地域公民館対抗卓球大会		各地域公民館単位でのチーム編成による、ラージボール卓球大会を開催。	
(3) 近隣自治体等との連携		<ul style="list-style-type: none"> 新たな大会などの誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築。 利用者ニーズや利用形態に合わせた施設の補完・相互利用を促進。 スポーツに関する様々な情報を幅広く提供できるよう、関係団体などと連携。 	

2 基本施策の進捗状況・実績と成果

No	基本施策	進捗状況・実績と成果
(1)	スポーツによる交流の促進	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会・イベントが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けた。 こうした中にあっても、市民体育大会を8種目で開催（6種目が中止）し、各般の交流促進を図った。（延べ612人参加） 主要事業である大船渡新春四大マラソン大会及び大船渡ポートサイドバレーボール大会、復興「ありがとう」ホストタウン事業の3x3バスケット大会は、いずれも中止となった。 気仙地区身体障がい者スポーツ交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期を受け、関連事業のほとんどを中止又は延期にするなど、実施時期・内容などを大幅に見直した。 市外の4団体が市内でスポーツ合宿を実施（うち3団体は本市スポーツ合宿支援補助金を活用）したことにより、スポーツによる交流促進の新たなスタイルを示すことができた。（延べ宿泊者404人、508千円交付） 以下の取組が、地域活性化などにもつながっている。 甫嶺復興交流推進センターを開所（令和2年10月）したほか、合同会社T X Fが、三陸BMXスタジアム（レーシングコース他）を整備した。（センター利用者 1,013人、スタジアム来場者 8,074人） 市内で行われているスポーツ・アクティビティや体験プログラムなどのサービス情報を発信するプラットフォーム（ホームページ）の構築に向けた取組を進めた。 スポーツ系体験プログラムとして、ダイビング体験とパークゴルフ体験を実施した。（延べ3,984人参加） みちのく潮風トレイルの整備ボランティア事業と親子ハイキングイベントを実施した。（延べ22人参加）
(2)	地域でのスポーツ活動の推進	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市スポーツ推進委員の活動のほとんどが中止となった。 地域公民館対抗卓球大会についても、同様に中止となった。 日頃市地区における、既存のスポーツ・レクリエーション活動の見直し策を含めた地区づくり計画の作成とそれを実践する地区運営組織の構築に係る取組を支援した。
(3)	近隣自治体等との連携	<p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策の取組に係る情報共有などを適宜行っているが、連携体制の構築までは至っていない。

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	基準値		実績値					目標値		達成率	達成率区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R5	R10				
大船渡新春四大マラソン大会の参加者数	人	1,656	0						1,700	1,800	0.0	d
大船渡市スポーツ合宿支援補助金の対象団体、人数	団体	0	3						3	5	100.0	a
	人	0	115						60	100	191.7	a

※達成率=目標年度の直前年度における実績値/目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

進捗度評価
B

4 課題

【課題】
スポーツイベントの相次ぐ中止による参加者離れや運営ノウハウの喪失
スポーツ合宿誘致における他自治体ほか関係機関との連携強化
甫嶺復興交流推進センターの利用拡大
地区におけるスポーツ・レクリエーション活動推進のためのニーズ把握
近隣自治体との連携による施設の相互・有効利用
スポーツによる交流促進の重要なツールとなる本市にゆかりのあるアスリートとの関係強化
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡新春四大マラソン大会や大船渡ポートサイドバレーボール大会などのスポーツイベントについては、そのスポーツ的意義はもとより、withコロナや交流促進などの観点も意識しながら、その在り方を再検討する。 スポーツ合宿誘致については、交流人口の拡大と市内中高生の競技力向上に資する取組を連動させながら推進する。 甫嶺復興交流センターにおいては、新型コロナウイルス感染症の動向を見据えつつ、PR活動と集客活動を推進する。 地区・地域でのスポーツ活動については、各地区などの状況を踏まえながら、スポーツ・レクリエーション活動を含めた地区づくりを支援していく。 スポーツ合宿誘致、施設の有効活用などに関する取組をベースとして、近隣自治体との連携体制構築に向けて検討する。 本市ゆかりのアスリートとの交流を視野に入れつつ、活躍を願って応援することを主目的に「大船渡アスリート応援団」を設置し、関連する取組を推進する。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、3x3バスケット大会などのスポーツイベントの継続に向けて検討する。

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和元・2年度）

基本方針	市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実
------	-----------------------

1 基本施策と主な事業及びその内容（計画掲載事項）

基本施策	(1) スポーツを「ささえる」人材の育成・充実		<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市体育協会と連携し、指導者養成講習会などへの参加を促進しながら、指導者の育成・充実を図る。 スポーツ推進委員の資質向上や関係団体と連携し、支援を必要とする人々のスポーツ推進体制を整備。 講習会への参加促進を通じて、障がい者スポーツを支える指導者・ボランティアを育成。
	主な事業	認定指導者助成事業	スポーツ少年団認定員の資格取得者の増大を図るため、認定指導者講習会の受講料を助成。
		スポーツ少年団指導者研修会開催事業	スポーツ少年団の指導者などを対象に、体力づくりやトレーニングに関する研修会を開催。
		スポーツ推進委員研修会派遣事業	県内や東北地区で開催される各種研修会にスポーツ推進委員を派遣。
	(2) スポーツ施設・設備の整備・充実		<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や利用ニーズ、財政状況などを踏まえながら、施設・設備を計画的に整備。 既存施設は長寿命化を基本とし、計画的に修繕を行うとともに、更新施設は必要性や将来への負担を十分考慮して検討。 国の支援制度などを活用し、バリアフリー化など計画的に整備。
	主な事業	スポーツ施設整備事業	市内スポーツ施設の修繕などを行い、利用者の安全性、快適性の向上を図る。
(3) スポーツ施設等の有効活用		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の利用者増加や効果的な運営が行われるよう指定管理者と連携を深める。 施設利用料の定期的な見直し。 学校施設の利用促進と廃校となった学校体育施設の有効活用について、地域住民などと検討。 	

2 基本施策の進捗状況・実績と成果

No	基本施策	進捗状況・実績と成果
(1)	スポーツを「ささえる」人材の育成・充実	(令和2年度) ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、認定指導者（現在は、「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」に移行）助成事業やスポーツ少年団指導者研修会開催事業、スポーツ推進委員研修会派遣事業など、スポーツ指導者の育成機会のほとんどが中止となった。
(2)	スポーツ施設・設備の整備・充実	(令和2年度) ・大船渡市スポーツ施設整備基本計画の策定により、効果的、効率的な施設マネジメント推進のための方針・方向性を明らかにした。 ・以下の取組により、スポーツ環境の改善を図った。 ・三陸総合運動公園屋外トイレ設置工事を実施した。（41,961千円） ・赤崎グラウンド及び市民テニスコート照明LED化工事を実施した。（39,441千円） ・市営球場法面の支障木伐採業務を実施した。（1,145千円）
(3)	スポーツ施設等の有効活用	(令和2年度) ・盛川河川敷公園の利用料を改定した。 ・「大船渡市立小・中学校施設の閉校後の利活用に関する基本方針」を定める（令和2年10月）とともに、旧日頃市中学校施設の利活用を含む日頃市地区の地区づくり計画の作成に係る取組を支援した。

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	基準値		実績値					目標値		達成率	達成率区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R5	R10				
市が主催するスポーツ指導者講習会の参加者数	人	30	0						35	40	0.0	d
スポーツ施設利用の満足度	%	19.0	18.7						21.0	23.0	89.0	b

※達成率=目標年度の直前年度における実績値/目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

進捗度評価
B

4 課題

【課題】
スポーツ指導の新たな状況に対応可能な人材の育成
総合型地域スポーツクラブの機能強化
スポーツ施設の利便性や機能性の向上
指定管理者制度によるスポーツ施設の効果的な運営
閉校した学校体育施設の利活用

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> スポーツを「ささえる」人材への関心が高まり、求められる指導者の在り方が多様化するとともに、学校部活動の段階的・地域移行が進むなど、新しい状況に対応することができるよう、研修会などを通じた人材育成に取り組む。 総合型地域スポーツクラブについても、上記の受け皿となり得る組織の一つであることから、クラブの運営支援を行う中で人材育成などにも取り組んでいく。 大船渡市スポーツ施設整備基本計画に基づき、計画的かつ適切な施設整備を進めることで、スポーツ環境とスポーツ施設利用満足度の向上を図る。 指定管理に係るモニタリング調査などを活用しながら、スポーツ施設のより効果的な運営に資するためのPDCAサイクルを実践していく。 閉校施設の利活用については、協働のまちづくりを進める中で、地区の意向把握や関連する取組を推し進める。